

## 平成30年度 第5回白井市市民活動推進委員会会議録（概要）

1. 開催日時 平成30年11月26日（月）午後10時～正午
2. 開催場所 白井市役所 東庁舎3階 会議室303
3. 出席者 関口宏聡委員長、清水洋行副委員長、黒添 誠委員、石川史郎委員、  
福留千亜紀委員、秋本紀子委員、大田茂子委員、迫田妙子委員、  
吉井信行委員、五十君みつる委員（名簿順）
4. 欠席者 浅海仁美委員
5. 事務局 岡田課長、松岡主査、長谷川主事  
石垣市民まちづくりサポートセンター長
6. 傍聴者 0名
7. 議 事
  - (1) 平成30年度市民団体活動支援補助金採択団体への中間ヒアリング結果について [公開]（資料1）
  - (2) 小学校区単位のまちづくりと小学校区まちづくり支援職員の経過について [公開]（資料2）
  - (3) 平成30年度しろい市民まちづくりサポートセンター上半期事業報告について [公開]（資料3）
  - (4) 今後の委員会予定について [公開]
8. 会議概要

[委員長] 皆さんおはようございます。今日は〇〇さんがご欠席ですけれども、皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、平成30年度第5回白井市市民活動推進委員会を始めさせていただきます。

本日も議題が三つ、細かいのも含めると四つということで、盛りだくさんではございますけれども、ご協力のほどよろしくお願いいいたします。早速ですが、事務局からよろしくお願ひします。

《事務局より欠席委員等の報告、会議資料を確認》

- (1) 平成30年度市民団体活動支援補助金採択団体への中間ヒアリング結果について [公開]（資料1）

[委員長] ありがとうございます。資料は大丈夫ですかね。そうしましたら早速ですが、一つ目のテーマに入っていきたいと思ひます。

平成30年度市民団体活動支援補助金という補助金を採択された団体さんに、市で中間ヒアリングをやっていただいたということがございまして、そちらのほうについて簡単

に説明していただいた後、質疑をさせていただきたいと思います。それでは、よろしく  
お願いいたします。

《事務局より資料1に基づき説明》

[委員長] ありがとうございます。全部終わってから報告だけ聞くよりか、こうやっ  
て中間ヒアリングで進捗状況をお聞きして、少し、よくできているところはその調子で、  
ちょっと大丈夫かなというところにはアドバイスをさせていただくことで、また最終報告  
の結果がよくなってくると思うので、非常によい取り組みだと思えますけれども、何か  
皆さんから、内容について確認したいことですか、あるいはもっとこうやったほうが  
いいんじゃないのかというような団体に対するアドバイスとかございましたら、自由に  
お願いいたします。

どうぞ。

[委員] NPO法人白井助け合いネットさんのところなのですけれども、3カ所のう  
ち2カ所は施設との話し合いがつかず、実施できていないということですが、どうい  
うところの話し合いがつかなかったんですか。

[事務局] 施設さんにこうやらせてほしいんですという話を助け合いネットさん側から  
したのですけれども「わかりました、ただ、今ちょっと忙しいので後日また相談してく  
ださい」というような状況が何カ月か続いているとお伺いしています。

[委員] 近い将来的には、それは解決すれば進んでいくのですか。もう断られたとか  
そういうことじゃなくて。

[事務局] 断られたわけではないです。ただ、NPO法人白井助け合いネットさんのほ  
うも、1週間に1回ぐらい、どうですかどうですかと言うのも、言いづらいというところ  
があり、そのタイミングを調整しているところだそうです。

[委員] そうなんですか。ありがとうございます。

[委員長] いかがでしょうか。はい、どうぞ。

[委員] ちょっと確認なのですけれども、ステップさんは白井駅前センターでやる学  
習支援だったですね。

[事務局] そうです。

[委員] ふじ元気ひろばというのは富士センターが主体になっているというところ  
ですが、市内全般でステップを展開するという話は、審査の過程では最初はなかったよ  
うな気がするのですけれども、そこをうまく、どっちが得するという言い方は変かもしれ  
ませんが、今はこういうふうに元気ひろばさんと一緒にやるというのであれば、  
それはそれでいいことだと思いますけれども。

私は清水口ですので、複合センターでこれと似たようなものをしていて、五、六人

の登録している先生上がりの人たちが、1人か2人の生徒にやっているという話を聞いたことがあって、実際はなかなか実績が上がっていないし、ステップのように補助金もらって大々的にやればいいんじゃないですかと話はしているのですけれども。

そういう意味で、細々とやっているのもあるので、ステップさんがもっと大々的にできて、富士センター、それからほかにいろいろなセンターでできるような形になり、ステップさんが主体になってやることはいいことだと思いますし、ステップさんが将来、今後についてどう考えているのかをちょっと聞きたかったのです、

これは、後で報告があるかもしれませんが、まちづくり協議会の中の一環としてやっていくということは非常にいいことだと思うのです。そうすると、ステップさんが今、駅前センターでやっていることを富士センターにも教えてあげる、それから第三小学校区にも教えてあげる、清水口にも教えてあげるという九つの地域に教えていくというふうな形をとれば非常にいいかなと思います。

[委員長] 何かお聞きになっていることがあれば。

[事務局] まだ、全市的に広めていこうというところまで、どうしても会場費の問題がまだ解決できないところもあるので、ステップさんの中ではそのような発想は、今のところはない状況です。ただ、現在、白井駅前センターだけで実施されているということで、どうしても広報というか、団体の活動を情報発信していくという面では、ほかの地域にも出ていかなければならないと考えており、今回近場である富士のほうで、実施させていただいたというご報告を受けております。

[委員] 会場費にかかっているところはあると思うので、会場費を半額にできる認定団体にはなっていないの。

[事務局] なっています。

[委員] そうしたら、そんなに高くはないと思うのですが。広いのを借りなくてもいいはずだから、富士センターなり駅前センターにどれぐらいの部屋があるのか。使っていたら、どうしても広いほうを使わなきゃいけない、だから高くなるというのはあり得る話なのだけれども。何か会場費を補助金出しているというふうにしか見えないので。補助金の一部としてはいいことなのだけれども、寄附している人がいるというのであれば、補助金を会場費じゃなくてほかで生かしていけばいいんじゃないの。会場費しか補助金は生かせないような中身になっているのかな。余り会場費、会場費と言わなくてもいいんじゃないかなという気がしているのですけれども。

[委員長] ほかはいかがでしょうか。

[委員] 二つの視点で話をしたいと思います。一つ目は、到達点と課題という視点です。二つ目が収支という視点です。

まず、ステップについては、たまたま私は白井駅前センターで活動しているのを見て、研修室1でお祭りやっていました。私も実は教員免許を持っていて、ちょっとわか

るのですけれども、一定の広さは必要だなと思います。というのは、見ていたら、個別にやるのですけれども隣同士やりづらいのです。離してほしいというのがわかるので。ですから、一定の広さ、広さ云々の問題はやむを得ないのかなというふうに見た感じではしました。

それで、到達点と課題ですけれども、気になったのは、ステップさんは講師料を払いたいとしていて、市のコメントとしてはボランティア云々言っていますけれども、これはちょっと矛盾するというか、どうなのかなと。ステップさんは、講師料を幾らぐらい払いたいのか、実態として講師の方にどうお金を使っているのかなと、もしわかっているならば教えてほしいなど。気持ちとしては、ボランティアって無理だなと思っています。やっぱり一定、交通費の部分で払わないと続かないだろうなと思いますので、ステップさんのニーズは正しいのかなと思います。

二つ目の収支についてですけれども、ステップさんもお金がないので、どうするのかというところでアドバイスを見ていくと、補助金講座を使えるという指導をしていますので、たまたまもらった資料に、補助金の使途、ピンクのやつが入っていますので、こういう案内というのはしているのかなと。以上が質問です。

それと、ふじ元気ひろばさんのほうです。さっきのステップとのコラボがうまくいかなかったと報告がありましたけれども、もうちょっと具体的に、例えば人間関係とか含めて、何がうまくいっていないのかを報告してくれないと改善しようがないですよ、うまくいかないということをもう少し教えてください。

収支のほうについては、問題は今のところないのかなという気はしています。

それと、NPO助け合いネットについては、収支は置いておいて、到達点と課題、第一の視点でいきますと、6月5日の成果報告会で、他団体とのコラボについて勧められていますよね。その後どうしたか。勧められたのにやっていないのかどうか含めてお聞きしたいと思います。

[委員長] お願いします。

[事務局] ステップさんの講師料の話で、今後は講師へ講師料等をお支払いしたいということでおっしゃっているのですが、現在は、全部ボランティアで実施していただいている状況です。基本的には、市内の方を中心にお願いしているのですけれども、一番遠い人で船橋の方、代表の大学の後輩にお願いしているところです。ただ、この方にも交通費も出していないという形で今、実施をされているということでした。

二つ目、補助金の講座については、しろい市民まちづくりサポートセンターが発行している通信になるのですけれども、ステップさんもちろんその登録団体になっておりますので、その冊子をお送りさせていただいているのと、それとはまた別に、補助金の講座の通知もステップさんも含めてお送りさせていただいているところです。

次に、ふじ元気ひろばさんのうまくいかなかったというところなのですけれども、事

業の細かい内容までは私も聞いてはいないのですが、募集した結果、誰も来なかったということでした。お子さんに放課後教室というような、御飯つきで実施する計画をしていたらしいのですが、それを学校にお願いしてチラシ配ってもらったりというようなこともしたらしいのですけれども、集まらなかったということで、うまくいかなかったというような表現をさせていただいているところです。

助け合いネットさんの他団体との連携は、従前から連携している生き生きライフさんというお話はその当時は聞いたのですけれども、それ以外に加えて新しいというところは、今のところはまだ聞いていない状況です。

[委員] わかりました。

[委員長] ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。

[委員] NPO法人白井助け合いネットさんが市内でどのような団体がどのような活動をしているのか調べる手段がなくて困っていると書いてあるのですけれども、これって市民活動支援課にて結構把握していらっしゃるんですよね。

[事務局] そうですね。

[委員] 問い合わせはありますか。

[事務局] 助け合いネットさんからご相談は来ます。あと、まちサポにも足繁く来ていただいて、そこでご相談を受けたりはしています。

[委員] でも、調べる手段がなくて困ってらっしゃるのですよね。

[事務局] 今まちサポのほうに来ていただいて調べることはできるのですけれども、例えば団体の情報を他市町村だったりすると、ホームページに載せていたりして、そういうふうに簡単に情報を得ることができたりするのですが、まちサポがまだそこまで補助しきれていないような状況で、そういうような団体さんを知る手段というのをもうちょっと拡充してほしいというのは、どちらかという要望に近いところで、こういうような表現になっております。

[委員] じゃあ市のほうもそれに応えなきゃいけないというところなのですね。

[事務局] はい。

[委員] わかりました。ありがとうございます。

[委員長] ありがとうございます。どうぞ。

[委員] 今の白井助け合いネットさんの話で同じところの話題なのですが、他団体との連携というので、私はユーカリアンサンブルというのをやっております。助け合いネットさんからお声かけありました。オーケーしているのですが、その後の反応がない。内容はわかっていると思うのですが、そういう例もあるので、助け合いネットさんのほうで何か目指す方向が定まっていらないのかなみたいな感想は持っています。

[事務局] ありがとうございます。すみません。

[委員長] せっかくお願いしておいて、音信なしで大変失礼な話なので、そういうこと

で信頼を失って行って、結局みんな協力しなくなっちゃいますから、そこは助け合いネットさんにいろいろ大変なことになるよと、それとなく言っておいていただきたいと思います。

[委員] 助け合いネットさんの話とステップさんの課題を伺っていて、課題は事務局機能なのかなというふうに思いました。ステップさんの場合は、今の活動はできているのだけれども、その次へのステップアップですね。補助金申請というところまでの事務局の機能で多分いっぱいいなのかなという感じがするんですよね。なので、そこから辺はまちサポさんが支援されるとかしてくださるといいのかなと思います。

助け合いネットさんも、本当はネットワーク組織というか、ネットワークで市内の資源をつないでサービスをつくっていくという、支援をつくっていくという活動だと思うのですが、それがうまくいかないというところも事務局のコーディネート機能がなかなかふえていないのかなということで、こちらもご支援していただけないのかなと思いました。

[委員長] どうしてもという方いらっしゃいますか。大丈夫ですか。きょうも議題が盛りだくさんですので、中間ヒアリングについては以上とさせていただきます。

## (2) 小学校区単位のまちづくりと小学校区まちづくり支援職員の経過について [公開] (資料2)

[委員長] 続いて、重要なテーマですが、小学校区単位のまちづくりと小学校区まちづくり支援職員についてということで、こちらは前回のときに、時間も足らなくなってしましまして、最終的には、また委員長、副委員長預かりということでお持ち帰りさせていただいて進めていただいているところになるのですけれども、そちらのほう進捗があったというふうに伺っておりますので、事務局からまずご報告いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

### 《事務局より資料2に基づき説明》

[委員長] ありがとうございます。今は職員指名の実施をやっている最中だということですね。だから、職員指名の間と職員の決定の間に線が引かれているという理解でいいですかね。ここから先が今後の予定ということですね。あと質問が出そうなのでお聞きしておくと、小学校区からは、二つ選定する予定ということなのですからけれども、ぜひうちというのは、何個ぐらい出ているとか、それはまだでしょうか。

[事務局] 感触といたしましては、このまちづくり協議会に対する考え方で、社会福祉協議会の皆様は、総論的な意味合いで非常にいい取り組みだということでご意見を伺っ

ております。自治連合会の皆さんは、自治会会長が1年ごとに交代になっていくというところがこれまでも課題になっているのですけれども、そういった意味合いで今後の見通しがなかなかつきづらいと。継続して私たち同じメンバーでやっていくとは限らない、あるいは変わってしまうほうが多いので、何とも言えないという意見が全体的な傾向の意見です。

民生委員児童委員連絡協議会は、地区社協と活動をともにしている小学校区が多いものですから、地区社協の考え方に似ているような傾向で、まだそれはアンケートの結果を見たわけではなくて、説明会での質疑応答ですとかそういったような感覚での話になります。

[委員長] 少なくとも、後ろ向きな方は余りいらっしやらないという感じですかね。

[事務局] そうですね。一番皆さんが危惧されているのは、私たちのこれまでの活動がどうなっていくのか。これまでの活動で手いっぱい、人手不足で大変な中で、これがまた1.5倍、2倍になっていくようであれば、それは難しいですとか、あくまでも効率的効果的に活動が発展できるような、そういった仕組みということであれば、これは素晴らしいことですよという話です。

[委員長] 最初に質問させてもらいましたが、残りの時間をどうぞ。

[委員] 自治連合会という話が出ましたので、私は自治連合会の会長をやっていますので、自治会の役員というのは、私は長いですが、それ以外の方はほとんど1年交代でかわると。ところが地区社協とか民生委員児童委員、私も民生委員をやっていますが、任期が3年間あります。地区社協も、民生委員だけじゃなくてずっとやっている方が多いのです。だから、そこら辺の意味合いはよくわかっているということだと思います。

それで、前回もちょっとお話しましたが、小学校区を基本的な単位としたまちづくり協議会の設立ということ、これが平成28年3月の5次総合計画でできていると。だけど、5次総合計画を市民がどれだけ知っているかと。申しわけないのですけれども、私も知らなかったのです。これが突然出てきて、まちづくり協議会とはどういうことなのかを説明されていますけれども、みんなぽかんと聞いています。その理解が足りない。そういったことがありましたので、先ほど話の中にありましたけれども、来年の1月19日に今年2月に研修で見に行った龍ヶ崎市の取り組みについて講演会をやることになりました。

地域で今やっていること以上に、何か仕事があふえたら困るなということが、非常に危惧されているところがありまして、それらの活動に関して、自治会もそうなのですが、地区社協さんもなかなか人が集まらないといったことがある。だから、民生委員が地区社協の仕事をしているという実情もあるわけです。

まちづくり協議会の中でコミュニティとか福祉とか健康づくりとかありますけれども、

自治会長さんであっても、防災、防犯、環境に分けていくと人が足りないところがちゃんと活動できますよということで、私もそうだと思っていますが、そういう理解がみんなにまだなされていないというのが、自治連合会としては非常に危惧していますので、小さなところから、一つ、二つの小学校区でやって立ち上げて、それを見ながら、みんながいけるのではないかと思います。

これと同じように、似たようなものは、実は第三小学校区、先ほどの富士センターですかね、そこを中心としまして、きのう防災訓練があったそうなのですけれども、500人から集まったと。みんな防災に関する意識だけじゃなくて、みんなで集まって何かしようといったときに、うまく理解されているということがありますので、そういったものが非常に先例的にはうまくいくのじゃないかなと。私的には、第三小学校区をまず立ち上げさせたら、みんなにも非常に理解しやすいんじゃないかと、そんなふうに思っています。自治連の役員会でもそういう話をしております、その役員が9名いるのですけれども、その中では大体理解ができてきているのですけれども、それをいざ自分のところの自治会長さんにお伝えするというのは、なかなか難しいというのがあるし、理解されていないというのがある、自治連合会としては、非常にしんどいなと。だから、講演会をやって理解を深めてもらおうと思っているのです。そこは自治会の役員だけではなくて、昔の人、新しい人、いろいろな方がいらっしゃると思うので、そういうものなのか、そして理解していただいて、協力していけばいいものができるのじゃないかと、そんなふうに思っています。

[委員長] ありがとうございます。ちなみにその龍ヶ崎市の方を呼ぶ講演会のチラシとかはもうできているのですか。

[事務局] 現在校正中ですが、1月19日の土曜日の午後1時半から3時半まで、文化会館2階のかおりホールで行います。

[委員長] これも皆さん、ここの委員は必見という感じですね。という感じなので、ぜひ自治会の方々にも積極的になっていただくために、この研修会はすごく重要だと思いますので、頑張ってくださいと思います。

あと、ほかはいかがでしょうか。はい、どうぞ。

[委員] 私は小中学校PTA連絡協議会の会長を3期やりましたし、今、郡の役員をやっていますので、その立場から話をします。

一つは、今回の4ページの表を見まして、非常に丁寧だなというふうに思います。少しずつ進めていく印象があります。

ただ一方、残念ながら、例えば職員が4人しか集まらないとか、小中学校PTA連絡会のほうに10月5日に来てもらいましたが、説明が5分、10分なので、なかなか進むわけがないのですよね。

PTAは小中学校14校ありまして、半分ぐらいは長くやっている人が多いのですけれ



ども、半分は残念ながら1年で交代なのでわからないということです。それで私も説明するのですけれども、なかなか実感は湧きづらいのかなという面で、まだ自治会なりP T Aなり含めて、湧き上がったニーズがまだまだの状態なのです。そこは市の事務局が頑張っって引っ張ってもらって行って、そこは大いに応援したいと思っておりますが、引き続きそのプレゼンのときにもスライドを使ったりとか、立体的に話をできればいいかなと思います。

それで一つは、小学校区の前回の話では、九つの小学校区で全部一斉にやろうかという話もありましたけれども、結果的には人数の関係考えると、一つ二つになるのが妥当かなというふうに思います。それで、私も推している学区があつて、何といても池の上小学校区です。実際に、防災リアル訓練では、自治連合会小学校区支部とP T Aと学校と地域で取り組んでいますので、そういった面では防災とか、防犯とか、進めていけるところから着手するのが一番いいのじゃないかと個人的には思っております。

[委員長] ありがとうございます。皆さん、推し学区お持ちということなんですね。

ほかいかがでしょうか。まだご発言されていないのは、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんですが。はい、どうぞ。

[委員] この分け方なのですけれども、基本的なことで申しわけないのですけれども、小学校区単位でチームを編成してそれぞれ活動していくということなのですけれども、確かに小学校区で皆さんされている方も多と思うのですけれども、子供が育ってしまつと、皆さん何か始めようと思うと、必ずその地区のセンターであつたり公民館に集まつて、いろいろ活動を始めようとしたり、話し合いしたりしようとするので、この中に各センターや公民館のセンター長さんなり、そういった受付をしたり、市民の方の声をじかに聞いていらつしゃる方を組み込んで行って、意見を吸い上げたりアドバイスできるような仕組みをつけ加えることはできないものかと思うのですけれども、いかがでしょうか。

[委員長] いいご指摘だと思います。どうでしょう。

[事務局] 地域によって、センターが拠点となっているところは、いろいろな活動でありますので、現に清水口小学校区の意見交換会を今までやってきている中では、センター長の人たちにも出席していただいて、まちづくりのことを一緒に考えているというような小学校区もありますので、こういったまちづくり協議会を進めていく際の機会の一つだと思うのです。センターには地域住民の皆様の活動や情報がたくさんあつて、センター長はその活動をともにされている方々といろいろなコミュニケーションをとつて、地域の実情を深くお知りになつていますし、そういった鍵となるような方の一員だと思いますので、進めていく際には、各小学校区の皆さんと、どういう団体、組織、機関の皆さんと進めていくかということをよく話し合いを通じて進めていくように考えていきたいと思っております。

[委員] わかりました。

[委員長] その小学校区の方々が話し合いながら進めていくということですよ。

[委員] その辺の絡みなのですけれども、私は出身母体としては国際交流協会なのですね。つまり単一団体なのです。各地域というのは、市全体としての単一団体なので、その団体がかかわりたい、みんなかかわりたいのですけれども、どういうイメージになりますでしょうか。二つ学区ができますでしょう、とりあえずトライアルとして。それは、こっち側は一つなのですけれども、それはそれで中で調整をして、ここに絡む、絡むみたいなそんなイメージですかね。

[事務局] そうですね。これからはいわゆる地縁型の団体さんとNPOのような志を持って活動されている団体さんが、地域でいかに融合していけるかというところが、まちづくりの鍵になってきますので、まちづくり協議会の中で、その地域課題に合わせて小学校区の皆さんと団体の皆さんが融合していけるような仕組みを積極的に考えていくということが重要になってくると思います。

特に、福祉という観点からも、今いろいろな福祉にかかわる活動をされている団体さん、そして小学校区の中では、高齢化の中で福祉が最重点だっているふうに課題設定された小学校区については、積極的にそういうことをもっともっと考えていかないといけないでしょうし、国際交流協会の中でも、例えば外国人が多くて、それで今後、日本で生活していくときに困っているという小学校区は、地元の小学校区からそういう話も出ていますから、そういったところに国際交流協会が入っていくというところは大いに考えられることだし、そういった取り組みが入っていけばいいのかなと思います。

[委員] ぜひ。ありがとうございます。

[事務局] 今、〇〇委員さんからもお話ありましたが、資料でちょうど1ページのところなのですけれども、一番下の図の左の下の方に各センターというように、センターの方々にもイメージとしては入っていただきたいというようなものを持っております。ですので、ここに書かれている方々が一堂に会して、こういう協議会の中でいろいろ話ができるというのが一番の理想なのですが、これは完成形の形だと思っていますので、出だしの部分でどれだけの団体さんに呼びかけて、皆さんに賛同していただいてスタートができるかというところをこれからつくっていく、その準備会というものをつくっていきたいと思っていますので、その中でよく議論をして進めていきたいというようなことで考えております。

[委員長] ありがとうございます。

[委員] 各センターで、小学校区に必ず一つセンターがあればいいのですけれども、ないのですよね。ないところが七次とか桜台ですか、あちらのほうにはそういうセンターがない。

[委員] 桜台にはあります。

[委員] 桜台はありますね。それで、ないところは、小学校にだんだんと空室ができてくるという話がありますので、そこを利用するような形で市が教育委員会と話し合いして、そこをセンター的な扱いで何かできないかと。実は、竜ヶ崎の八原の話では、みんなコミュニティセンターとして、市の委託職員という形でやっていると。だからその人がメインになって協議会の事務局長をやっているというのがありまして、それは、市の中に13だったですかね、13あるところに全部そういう場所みたいなものがあるということでしたので、非常に向こうはやりやすくやっているんじゃないかなという感じがしましたから。今の白井市でも、それこそそういうセンター的なものがないところは、小学校の中の教室を借りるとか何かできるようにしていけばいいんじゃないかということで、我々自治連合会の役員会ではそんな話もしているのです。

[委員長] それはちょっとお金もかかる話なので、次のまた検討課題とさせていただきたいと思いますが、ほかはいかがですか。よろしいですかね。

そうしましたら、このまちづくり支援職員の話は以上とさせていただきまして、今ちょうど10時53分ぐらいなので、そうしましたら、11時再開ということでご休憩いただきたいと思います。それでは、どうもお疲れさまでした。

(3) 平成30年度しろい市民まちづくりサポートセンター上半期事業報告について  
[公開] (資料3)

[委員長] そうしましたら、皆さんお戻りになられましたので再開したいと思います。後半の議題は、平成30年度白井市民まちづくりサポートセンターの上半期の事業報告についてということで、皆さんもうごらんになっておおり、まちサポができてはや半年弱ということですので、上半期の事業報告をお聞きして、適宜確認とかアドバイスをさせていただきたいと思います。それでは、事務局よろしく願いいたします。

《事務局より資料3に基づき説明》

[委員長] ありがとうございます。そうしましたら、残りあと25分ぐらいになるのですけれども、こちらのいただいた事業報告の内容の確認ですとか、あるいは皆さんのご知見の中から、もっとこうやったほうがいいんじゃないとかというようなことをぜひアドバイスいただければと思います。それでは、ご自由にどうぞ。

[委員] 市民活動をされる団体さんがふえてきていると思うのですけれども、こちらでは、保険に登録する制度はあるのですか。

[事務局] 市民活動の保険があります。

[事務局] 市がやっています市民活動の保険をお勧めして、場合によってはボランティア

ア活動の保険など、状況を聞かせていただいて、取捨選択していただいているような形です。

[委員] 何かイベントやるときに、そういう何か自分たちの保険は登録している人は入れるけれども、イベントやるときは特にはないですね。うちにも質問が来るので、ボランティアセンターに情報をいただきたいと思います。

[事務局] それは後ほどお伝えさせていただきます。

[委員長] 保険もいろいろあるので、ボランティア保険、共済のボランティア保険だと、いわゆる有償ボランティアで、先ほど出てきた謝金がちょっとでも出ていたらだめとか、そういうのがありますよね。交通費程度だったらオーケーとか、有償ボランティアもオーケーな保険だとか、あるいはイベントにかける保険もあれば、いろいろ今、保険もタイプがあります。適切な保険に入り、万が一のときにちゃんと払われないといけないので、その辺をしっかりとご案内いただければと思います。

ほかはいかがでしょうか。はい、どうぞ。

[委員] 23ページの情報収集・発信の部分なのですが、10月19日から11月2日までと、10月27日のときめきマルシェに合わせて音楽会をなさったということなのですが、今後の課題のところ、イベントからの動員は伸び悩んだというのがあるのですが、これについて、ふるさと祭りとかときめきマルシェのポスターとかいったものに、ちらっと1行とかそういうものは入ったりしたのでしょうか。

[事務局] この事業をやるということはお伝えしていたのですが、チラシの掲載には間に合わなかった。ただ当日などは、授乳室として、ときめきマルシェご利用いただくことになっていたのですが、ご案内とかいろいろフェイスブックなどでも発信はしていただいたということはあります。

[委員] フェイスブックで。そうですか。チラシには今回は入らなかった。

[事務局] 入らなかったのです。

[委員] ふるさとまつりは今回チラシなかったでしたか。

[事務局] 例年どおり、チラシはございました。

[事務局] ありましたね。ふるさとまつりは、ステージの団体さんの控え室としてのまちサポのご利用でしたので、そのあたりでハロウィンということでは載らなかった。

[委員] そうですか。もともとふるさとまつりのほうからは、特に来ることは考えていらっしやらなかったということですね。動員は伸び悩んだと書かれているのですが、

[事務局] ふるさとまつりに来た方はいらっしやっていたのですが、特にマルシェは、雨のため順延になってしまったということもあって、そのあたりのことを書かせていただいています。ふるさとまつりのときに閲覧になっていただいている写真を掲載しているのですが、初日で40人ぐらいの方がごらんになっています。もうちょっ

と連動してもいいかなというところは。

[委員] ときめきマルシェさんは6月に発表されて拝見しましたが、とても素敵なポスターだったと思うのですけれども、ちらっと入れていただけたら、見ている人は来るかもしれないので、ポスターに入れていただけたらよかったかなと思います。

あと、今回のこちらのまちサポさんとは違うのかもしれないのですけれども、コンビニありますよね。あそこは土日祝日が閉まっているのですけれども、こういうイベントがあるときってすごいたくさん人が来たりすると思うのですけれども、そういったイベントのときだけでも、開けていただくということはできないのですよね。

[事務局] 庁舎管理のほうで管財契約課という課が、今回、売店をここに入れるために募集をかけたとかしていた課なのですけれども、恐らくそことヤマザキさんとの取り決めの中で、決まり事ができ上がったものが今のパターンだと思いますので、恐らく土日に関しては、営業というのは今のままではできないのだと思います。

[委員] 今の取り決めではできないということですか。

[事務局] はい。

[委員] ふるさとまつりのときにも、こういった大きなイベントがあるときでも開けないということですか。

[事務局] はい。ヤマザキさん側のほうのお考えで、恐らく開けないということになっているのだと思いますね。

[委員] そうですか。開いていたらとてもよかったなと思ったものですから。

[委員長] ○○さん、いかがですか。

[委員] 市民活動推進センターのときと比べると相談件数がすごくふえていて、まちサポさんの機能がすごく発揮されていて、団体さんは立ち上げるときもどうやったらいいかってすごく考えられるだろうし、団体ができてきて継続していく中でも、いろいろどういうふうにやったらいいのかなとか、何か新しい案が欲しいなとか、そういうときにすごく力強いだらうなというふうに感じて、これからもこの相談機能、頑張っていたきたいなというふうに思いました。

[委員長] ありがとうございます。どうぞ。

[委員] 私、センター出身であって、そしてまた、国際交流協会が母体になっているので、今回のまちサポさんとの比較というか、本当に感じているのですけれども、これコンセプトはずっと発展しているわけで非常にいいですよ。いろいろな意味で、これから白井市で市民活動ということをつめた中で、非常にいい組織に発展しているなと思います。今、私もここに関係させていただいて非常にうれしいですけれども。

具体的には、今度は国際交流協会側からすると、いいのは多目的スペースです。これは市民の方々との共有の場というか、こちらからの情報の発信、それから市民の方の情報の受信という意味からいってこの場がすごくいいですね。この多目的スペースをもっ

とものと団体の側がもっと活用させていただくといいと思います。宣伝ですけれども、1月12日から19日までカザフスタン共和国展を開催させていただきますので、ぜひ皆さんおいでいただければと思います。

それとリンクしたのですけれども、1月26日、かおりホールでカザフスタン共和国大使講演会がありますので、ぜひ皆さんのご来場をお待ちしています。今回、このまちサポになって、私、センターの関係者だったのでセンターがどうのこうの言うのじゃなくて、本当に発展しているのですよ。施設のにも、コンセプトも発展して、そういう意味では、白井市ないしは白井市民の方々にとってプラスになっていると、これは本当に実感しています。

そういう意味でも、この多目的スペースでカザフスタン共和国展をさせていただいて、かおりホールで大使講演会というのが、我々の団体としてみれば理想なのです。これ、ぜひいろいろな団体の方含めて、まちサポさんの協力がまたいいのですよ。本当に親身になって話を受けていただいて、相談にのって、そしてまた支援課さんもそうだし、企画政策課さんも連動して、まちサポさんも、あるいは支援課さんを中心にして、これは我々にとっては機能していますから、ぜひ皆さんもこれからどんどんご一緒されたいと思います。立場違って言うてしまうのですけれども。ぜひお勧めです。これからまたいろいろご相談することが多いと思うので、よろしくお願いします。

[委員長] 力強いお声を。どうぞ。

[委員] 私も多目的スペースができて、本当に素晴らしい施設ができて、市民の一人としてぜひ使ってみたいし、活動してみたいと思う一人でございます。

先日、〇〇さんに私も相談することがありまして、とても親切に丁寧に相談にのっていただきまして、ありがたいなと思った次第なのですけれども。この団体の立ち上げの要件として、5名以上必要だというお話を受けまして、その際に、いろいろな規則があるのかもしれないのですけれども、2人、3人からでも志のある人は登録できないものかなとちょっと思いまして。正規の団体として認められないとしても、プレ段階として、プレ団体みたいな形でそういったものを登録する仕組みがあったらいいなと思っていたので、今後お考えいただければと思います。先日はありがとうございました。

[委員長] はい、どうぞ。

[委員] 委員としてじゃない発言になるかもしれませんが、一登録団体として、いろいろお世話になっております。

2ページの最初にお話があったまちサポの機能というところを改めて眺めてみたのですが、始まって以来、私たちがお世話になったのは、1、2、3、さっきの相談機能もお世話になっています。4がちょっとかかわっていないかなというので、あと5番、6番。6番、きのうもスキルアップの会に出させていただいたのですが、この七つの項目がある中で、私、個人としては5個ですかね、もう既に関連しているところです。

この委員会で最初のころに、私、自分で発言したのを覚えているのですが、会議室が有料なので、ちょっとみたいなことを言っちゃったけれども、今になって、ええ、こんなに安く使えるんだと便利に今思っています。

それから、土日より夕方開けたらみたいな発言もした覚えがあるのですが、これも考え改めまして、土日開いていてすごくうれしいです。とても有効に使っています。

それで、質問というかお尋ねなのですが、この機能の7番、まだ1年間終わっていないので何も実績がないですよというお話だったのですが、7番については、今後どういう感じで進んでいくのでしょうか。

[委員長] 調査・研究のところですね。

[委員] はい。

[委員長] 何かお考えあればお聞かせください。

[事務局] 今やっているところでは、相談のところをどんなジャンルのご相談を受けているか、それに伴って、私どもが今後どういうスキルを上げていかなきゃいけないかというのもテーマとしたいというふうに思います。

それから、団体さんのニーズについてなのですけども、まちサポ通信の4ページ目に、1月31日に団体情報交換会・大交流会というのをやるのですけれども、ここでいろいろな団体さんの情報を私たちもお伺いしたいと思っていますし、いろいろな抱えてらっしゃる問題とかを共有して、どうしたらそれが解決できるかというのを一緒に考えていくようなことを今思っています。

それから、今登録されている団体さんは3月31日までなのですけども、また更新の時期というのが、年が明けたらやってまいりますので、そのときにまた、その団体さんからどのようなニーズを収集するかは検討しなくてはいけないのですけれども、そのタイミングで団体さんとのお話、ニーズなどお伺いできればなというふうに思っています。

[委員長] どうぞ。何か補足ありますか。

[事務局] この調査研究機能というのは、市民の団体の皆様と市が協働し合うことであったりとか、あるいは市民活動の皆さんがより活動しやすいようにだとかという、そういったような願いや困り事というものを、まちサポでしっかりと把握をさせていただいて、それをまた今度は制度なり、あるいは事業なり、そういったことでお返しをしていくという。あるいは、全体的な傾向を皆さんにフィードバックさせていただくという、そういう形で情報を皆さんからいただいて、また、それを事業で、あるいはいろいろな取り組みでお返ししていくというための機能で、今後の予定としては、今、センター長が言ったようなところで考えているところです。

[委員長] もうちょっと時間ありますけれども、いかがですか。どうぞ。

[委員] 全く場違いな話かもしれませんが、先ほどのコンビニの土日の営業という話で、それは契約で決まっているからだめです、それは当たり前の話なのですから

ども、それをこういうところで意見が出たよということを管財契約課に話をさせていただきませんか。そのための会議なので、あっちが決まっていますからだめです、それはわかっています。わかっているけれども、そういう意見があったということを伝えてくださいというのが一つと。

今のまちサポの多目的スペース、その前のエントランスのあたりもかなりあいているのですね。皆さん覚えていらっしゃると思いますけれども、旧庁舎があったとき、市民課の前にソファがあって、小さな机があって、丸くなって座れるというスペースがあったのです。選挙の期日前投票をやっていた場所なのですけれども、ああいうスペースをここにできないのかな。そうすると、もっと人が来て、にぎやかしくなってくるのではないか。これは前から言っている話なのですけれども。要するに早い話が座るスペースがないのですよね。多目的スペースで展示会やりました、見ました、ぐるぐる見ました、さて、疲れたなと思っても、座るスペースがない。そこら辺を何かちょっと考えてもらえれば、もう少し人がふえてきて、にぎやかしくなっていて、まちサポというのがこんなことをやっているのだというのがもっと大きな宣伝になるのじゃないかと。これは私、前から言っていることなので、改めて言わせていただきました。

[委員長] ご検討よろしく申し上げます。ほかはいかがですか。どうぞ。

[委員] まず、相談機能というのが素晴らしいなと驚いています。特に子育てとか大事な課題ですので、白井市の大いに希望を今後、発展させることが大事だなと、実感として思います。

課題として、一つは、3ページ目の会議室の図面。二部屋あるのですけれども、机の規格が違うのです。椅子も使いづらい。同じにして、二部屋を使用する場合にちゃんと使えるようにしたほうがいいと思いますよ。

それからあと、二部屋を借りた場合、前の借り主がいない場合には、30分とは言わないけれども、なるべく早く貸し出し、準備時間をつくって利用できるようお願いしたいと思います。

それから、4ページ目、今まで土曜日の21時まで使えていたのですけれども、今は、土曜日は夜使えないのですよね。PTAとか私も白井駅前夏祭りの実行委員やっていますが、会議が夜なので使えないのです。しかも遠いので、P連もここは使わないし、夏祭り実行委員も使わないというふうになっていますので、できれば、夜の時間をご検討いただけないかなと。結局、夜使えないと駅前センターへ行っちゃうのですよね。

最後ですけれども、12ページの多目的スペースの利用実績なのですけれども、質問二つありまして、10月28日日曜日、まちサポ、ときめきマルシェ、ゼロ人とありますけれども、その理由が一つと、それとあと、トータルで2,005人となっていますけれども、当初の予定利用人数との差異分析はどうなっているのかと。以上です。

[委員長] 何点かありましたけれども、まず会議室から。



[事務局] 会議室の机については、推進センターの机を会議室2のほうに流用している関係がありまして、ちょっと規格が違うということがございます。

[委員] 並べると形が違って使いづらいですね。

[事務局] 済みません。

[委員長] 予算ついたら、ぜひ。

[事務局] そうですね。

それから、12ページのお尋ねの10月18日、マルシェの乳児室というのですが、これ実際、多目的スペースを乳児室としてご用意はしていたのですが、ご利用がなかったという感じではあるのです。ただ、乳児室って授乳室なので、いちいち私たちが見てということでもなかったのですが、実際はわからないのですけれども、ご利用がなかったのじゃないかということです。

[委員] ゼロだったので、気になったもので。

[事務局] でも、まちサポの乳児室ですということで、フェイスブックなどもアップはされていましたが、告知はされていたのですけれども、私たちも把握できていないというところで、ゼロで報告を上げさせていただいた。

[委員] 気になった部分については、一応確認しておりますので。

[事務局] はい。

[事務局] 当初の予定に対してどうなのかというところなのですが、当初、半年で何千人というような数字としての基準となるような目標人数というものまでは設けてございませんでした。

ただ、文化センターの3階の郷土資料館の前に、従来展示をしているコーナーがございまして、その展示されている団体さんが、もう少し広い場所を設けて展示活動をしたというような話があって、多目的スペースをつくった経緯がございまして、そういった面で行くと、当初、郷土資料館の前で展示されていた団体さんがどれぐらいこの施設を利用されているのかというところで行きますと、全部が全部、その展示団体さんがこの多目的スペースを利用されるには至っておりませんで、約半数ちょっと程度ぐらいの以前の団体さんが、こちらのほうにお使いになってくださっているというところなんです。

あとは、有料化をしたことによって、1週間利用しますと1万円台後半ぐらいまで利用料がかかりますので、その辺の金額で少し利用から遠ざかっているという団体さんもいらっしゃいますので、そういったようなところからすると、目標数値ということではありませんけれども、従来予定していた団体さんが全て利用いただけているわけではないですから、今後はそういう団体さんにご利用いただくということとあわせて、先ほど国際交流協会でも、またいろいろなイベント、展示もしていただけるという新しい団体さんにも多目的な利用をこちらのほうから提案をさせていただいて、この利用人数をふやしていけるように頑張っていきたいと思っております。

[委員] わかりました。

[委員長] ありがとうございます。どうぞ。

[委員] 先ほどの10月28日のときめきマルシェ乳児室利用者がゼロ人だったというお話に関連してなのですけれども、私、これものすごくいい案だと思って、これができて、すぐにこういうことを考えられたというのは、女性の方ならではだと本当に感心したのですけれども、ゼロ人というところで、私の意見で言わせていただくと、多目的スペースはちょっと広いのです。ちょっと広いというのと、割とすぐ出入り口があるので、間違っただけ開けられちゃうのではないかといい気持ちもあるんじゃないかと思っておりますので、できれば会議室のあたりのちょっとこじんまりした狭いスペースにさせていただいて、あと立て看板か何かわかりやすいようにしていただけると、まちサポの入り口入ったらすぐわかりやすいというのと、あと会場にありますということ大きなポスターなり何なり置いていただくと、あつて感じで行くのじゃないかと思っております。

[委員長] どこでもそうだと思うのですけれども、こういう実際に利用されている方のご意見を収集する何か利用団体懇談会とかというのは、それがこの大交流会なのですか。

[事務局] はい。

[委員長] 大体こういう参加型で施設運営していくという上では、そういう実際使っている方々のご意見をいかに吸い上げて、アンケートで聞くのもそうですし、インフォーマルにこういう雑談の中から引き出していくとかでも力の一つになりますので、それはぜひやっていただきたいなと思っております。

皆さん、そろそろよろしいですか、

皆さんのご意見を総合すると、まだまだのところも一部ありますけれども、すごく好評だということですので、この調子で1年やってみていただければと思います。

それでは、事務局にお返しいたします。

#### (4) 今後の委員会予定について [公開]

[事務局] それでは、4番目の今後の委員会予定についてなのですが、今年度最後の委員会ということになりますけれども、3月を予定して開催をしたいと思っております。まだ先々の予定が、いろいろ議会等の開催もあるものですから、皆さんのほうには調整はできないのですが、1月に入ってなるべく早い段階で、皆様には複数の日程案を提案させていただいて、その中で委員長、副委員長が出席をいただけて皆さんが一番多く出席いただける日にちに決定をさせていただきたいと思っております。

議題といたしましては、今回ご紹介をいたしました、まちサポの下半期の事業が幾つも用意をされておりますので、その結果等、それから市民団体活動支援補助金の来年度

の募集が2月から予定されておりますので、そのあたりの状況の報告などを考えております。また、最終的には委員長と相談をさせていただいて議題設定をして、今年度、残すところ1回になりますけれども、また引き続きご協力をお願いしたいと思います。

[委員長] ちなみに皆さん任期は2年ですからね。今年度終わっても、また来年度ありますから、よろしくをお願いします。

皆様のご協力で、時間ぴったり終わりました。本日もどうもありがとうございました。お疲れさまでした。